

# 神戸医療福祉専門学校中央校 学校関係者評価委員会 会議資料

【令和4年6月18日実施】

令和3年度自己点検自己評価(令和3年4月1日～令和4年3月31日)による

項目	点検項目	自己評価	自己点検	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	評価	学校関係者評価委員よりの御意見
		適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1			適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1	
1 教育理念・目的・育人人材像	1-1-1 理念・目的・育人人材像は、定められているか	4	<p>教育理念・目的・養成人材像は、明文化されており、事業計画に目標・方法を具体化している。会議や研修等においては、理念等の徹底をしている。常に業界とのコミュニケーションを図り、産学協同での教育を心がけている。業界が求める人材像を明確にするともに、教科目標・教育課程・授業計画等の策定に活用している。事業計画では「地域連携」「業界との連携」を掲げ、特徴ある教育プログラムを構築し、変化する社会に対応するために、中・長期の事業計画を策定し、毎年見直しをしている。今後は、教育をとり巻く環境変化や学生の質的变化に対応するため、地域における活動や業界との連携を深めつつ、カリキュラムにはキャリア教育の実践を盛り込んだ内容を加え、さらなる職業人教育の質を高めていく。</p>	<p>職業人教育を通して社会に貢献することをミッションとし、3つの建学の理念(実学教育・人間教育・国際教育)の実践、4つの信頼(学生、保護者からの信頼・高等学校からの信頼・業界からの信頼・地域からの信頼)を得られる様に学校運営する中で、各業界のニーズに即した人材育成を行っている。</p>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・しっかりと教育理念・目的・育成したい人材像が定められ、その実現にすすまれていることに感服します。</li> <li>・教育理念・目的・人材像は、明文化されており、それに対応するカリキュラム・事業計画が策定、活用されている。</li> <li>・これからもニーズに即した人材育成を行って欲しいと思います。</li> <li>・理念を明文化し、それらを浸透させている。4つの信頼の中の「業界からの信頼」について大いに得ておられることを実感している。</li> <li>・学生の質や人間性の部分の変化が大きくなっていると思います。それに合わせた教育をされていていらっしゃる様なので、これからも宜しくお願いします。</li> <li>・より一層の努力に期待しております。</li> <li>・適切</li> </ul>
	1-1-2 育人人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか					
	1-1-3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか					
	1-1-4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか					
2 学校運営	2-2-1 理念に沿った運営方針を定めているか	4	<p>法人としては、事業計画・運営方針を定めることを重要視している。運営方針は学校事業計画書に理念、目標、具体的な計画等と関連づけて明文化している。</p> <p>毎年、業界のニーズに対応した事業計画・運営方針を作成するように努め、明文化された事業計画・運営方針を基に、学校運営に関わる全ての教職員が理解した上で各業務に取り組んでいる。</p>	<p>事業計画の構成は組織目的(普遍的に学校が目指す開校、組織運営の目的)、運営方針(中期的に組織として目指す方針)、実行方針(中期的な組織の運営方針を実現する為の単年度の方針)、定量的目標(入学率・教育成果&lt;中退防止・国家試験合格数&gt;・就職率等)、定性的目標(人材育成や組織のあり方等単年度目標、実行計画(その方針を実現させる為の具体的な計画)、組織図、職務分掌、部署ごとの計画・スケジュール、意思決定システム、収支予算書(5か年)で毎年作成している。</p>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・円滑かつ効率的な学校運営を行うための組織体制・事業計画が用意されており、それが有効に機能する意思決定システムも構築されている。</li> <li>・問題なしと思います。</li> <li>・理念に沿った運営方針をしっかりと定め、それらに関連する文書等も整っている。</li> <li>・今後も学校運営に期待しております。</li> <li>・適切</li> </ul>
	2-3-1 理念等を達成するための事業計画を定めているか					
	2-4-1 設置法人は組織運営を適切に行っているか	4	<p>運営のための組織図・職務分掌・会議の目的と主催者(決定権者)は事業計画に含まれており、会議・研修で共有している。会議、委員会等の議事録は開催毎に作成し、関係者に共有をしている。組織運営のための規則・規定を設け、運用に不足がある場合は、運営会議で検討し改正を行っている。</p>	<p>職員の職場に関するアンケートやストレスチェックを実施。理念、目標の理解度や、職場満足度、各自の希望などの項目でアンケートを取り、その結果を受けて職場環境の改善にも着手している。学校運営に必要な組織体制は整っており、今後も各部署間連携を活性化し可視化することで新たな方向性も模索していきたい。</p>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートを実施して職場環境の改善に活かされていることが見習いたいことです。</li> <li>・対面でのヒアリングを続けて欲しいと思います。</li> <li>・職員のアンケートは有効であると考え、フィードバックを大切に、職員の満足度を上げることが質の向上に繋がっていくと思われる。</li> <li>・職員の職場環境の充実に努力して下さい。</li> <li>・ストレスチェックの結果と高ストレスの場合への対処が適正であることも確認したいと思います。</li> <li>・適切</li> </ul>
	2-4-2 学校運営のための組織を整備しているか					
	2-5-1 人事・給与に関する制度を整備しているか					
	2-6-1 意思決定システムを整備しているか	4	<p>意思決定システムは事業計画において明文化しており、諸会議の位置づけについても明記されている。意思決定を行う会議の進め方、結果の取り扱いを重視し会議毎に参加者は選抜され、その中で主催者に権限は委譲されている。</p>	<p>月に一回、運営会議・全体会議・学科・広報会議を実施。また目的に合わせて随時会議を開催している。問題解決サイクル(問題発見⇒問題分析+仮説立案⇒対策立案⇒実行⇒検証)を回していることが意思決定プロセスを効果的に活用できている。また学校運営を円滑に進めるに、教職員のスキルに応じた各種研修プログラムに積極的に参加し、チーム組織全体の底上げを図っており今後次世代育成を早期に着手していく。</p>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議での共有が大切である。続けて下さい。</li> <li>・意思決定システムが明文化され、会議ごとに権限が与えられているのは参加者のモチベーションにも繋がると思う。</li> <li>・今後も期待しております。</li> <li>・適切</li> </ul>
2-7-1 情報システム化に取り組み、業務の効率化を図っているか	4	<p>システムは、学生・入学者・卒業生・実習先・就職先等の対象別、教務・就職・広報等の業務別において幅広く導入されている。学校セクション毎の情報システム化、学生の情報の管理、その結果としての業務の効率化が推進されている。</p>	<p>業務の効率化と同時に、学生一人ひとりの情報を一元管理することにより、学生への様々な支援や求められる人材の養成や国家資格取得に結びつけることが出来る。その学生支援の精度を今後更に高める必要があると考える為、DX推進の稼働に着手している。</p>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国家資格取得が大切であり、最大のポイントであるので、これからも大切にして下さい。</li> <li>・学校内のICT化は、効率的な運営に欠かさないと思うので、進めていって頂きたい。</li> <li>・システムの導入によって生徒が少しでも支援される事を望みます。</li> <li>・適切</li> </ul>	

項目	点検項目	自己評価	自己点検	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	評価	学校関係者評価委員よりの御意見
		適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1			適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1	
3 教育活動	3-8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	4	厚生労働省による「介護福祉士養成施設指定規則」、「あん摩マッサージ指圧師、はり師及びきゅう師に係る学校養成施設指定規則」に従い教育課程の編成方針、実施方針を定めている。編成方針や実施方針はディプロマポリシー(DP)やカリキュラムポリシー(CP)に反映させている。修業年限に応じた教育到達目標については科目間の関係性を重視し、カリキュラムマップを作成し明確にしている。	修学2～3年間の流れや目標(教育課程)を入学前教育時から説明し、各学年時における授業開始前のオリエンテーションにて修学2～3年間、各学年時の目標を説明している。	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・DP・CPの反映も含め、学校の理念に沿った編成・実施方針・教育計画が適切に運営されている。</li> <li>・目標を示すことは達成へつながる。</li> <li>・入学前から見通しをもった修学内容を把握しておくことは学生にとっても有用だと思われる。</li> <li>・わかりやすい目標の提示を希望します。</li> <li>・適切</li> </ul>
	3-8-2 学科毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか					
	3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	4	厚生労働省による「介護福祉士養成施設指定規則」、「あん摩マッサージ指圧師、はり師及びきゅう師に係る学校養成施設指定規則」に従い教育課程の編成をしている。将来、業界から求められる人材に必要な知識・技術の養成についてステップアップ(階段式)形態で初年度(1年次)より段階を経て基礎から応用実践までを編成している。	近年、カリキュラムに各校独自の特色を出すことも望まれており、介護総合演習や実技指導などにて卒業生の出講や、業界また他業種の方々により講義を実施している。	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特色のあるカリキュラム、卒業生による講演、業界関係者の講義など、知識・技術の向上に常に取り組んでいる。</li> <li>・卒業生による、将来像を持てる授業がある。</li> <li>・卒業生の出講は卒業生にとっても貴重な経験となっている。当施設の職員も出講させて頂き感謝している。</li> <li>・卒業と同時に現場で使える知識と技術を学んでほしい。</li> <li>・「接遇、コミュニケーション」の課題がピックアップされる事が多くなっています。是非一層の教育をお願いします。</li> <li>・適切</li> <li>・卒業生を使って将来像を持てる授業がある。</li> </ul>
	3-9-2 教育課程について、外部の意見を反映しているか	4	業界団体の学会・会合等への参加、業界開催の研修内容等の把握より業界や社会のニーズの把握に努め、教育に反映させている。	社会的ニーズを教育内容に反映させるため、講義・演習にて卒業生の講義や実技指導などを積極的に実施している。 求人先の施設・治療院などからも現在の求められている知識・技能について情報収集を行っている。	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会のニーズ、業界のニーズを積極的に情報収集し、教育に反映されているのがすばらしい。</li> <li>・卒業生の活用を続けて欲しい。</li> <li>・卒業生の出講は卒業生にとっても貴重な経験となっている。当施設の職員も出講させて頂き感謝している。</li> <li>・今後も取り入れることを期待します。</li> <li>・適切</li> </ul>
	3-9-3 キャリア教育を実施しているか	4	キャリア教育に対する考え方やフレームを「キャリア教育ロードマップ」として作成し、キャリア教育に取り組んでいる。実習や学外研修で職業人としての自覚や態度を涵養しつつ、専門知識・技術を生かすためのコミュニケーション能力、問題解決能力を身につける指導を実施している。	働くための知識・技術と社会人基礎力を踏まえたキャリア教育の充実が求められている現在、コミュニケーション能力は重要なポイントであると考えている。実習前後や普段より個別面談を実施し、振り返りを行うことで教育効果を上げている。特にコミュニケーション能力に問題がある場合はその状況(状態)の把握、学生自身によるその状況の認識、それによって発生する問題点、改善方法、目標を提示しながら進めることで、一様の成果が現れるケースもある。	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題なし。</li> <li>・何事においてもコミュニケーション能力は基礎となるので、力を入れられていることは素晴らしい。</li> <li>・特記事項に記入のある通り、社会人基礎力が社会に出ると最重要な部分だと思つので、学生の間で教えて貰っているとありがたいです。</li> <li>・一層の努力を期待します。</li> <li>・適切</li> </ul>
	3-9-4 授業評価を実施しているか	4	学期終了時に科目毎に授業に対するアンケートを実施している。アンケートは科目担当者へフィードバックし、より質の高い教育を目指し反映させている。	昨年の評価委員会でのご意見を踏まえ、本年度より講師を含め、授業評価を実施することとした。また、アンケート結果については非常勤講師へもフィードバックを行い、質の向上を図る。	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度の意見をふまえ、非常勤講師の方へも…という姿勢がすばらしい。</li> <li>・非常勤も入って、見える化される。</li> <li>・評価委員会の意見を反映され、アンケートの範囲を広げられたのは参加をして嬉しく感じた。</li> <li>・一層の努力を期待します。 ・大変適切</li> </ul>
	3-10-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	4	成績評価や単位認定の明確な規定が学則や履修規定・試験規定により明文化されており、教員・学生ともに周知されている。また学生に対しては各学期開始前のオリエンテーションにて再確認を実施している。	定期試験の結果が国家試験出題範囲の理解となるような評価方法を検討するよう心掛けている。既に定期試験に関しては五者択一のマークシートを取り入れており客観的な評価の実施を目指しているが、思考力・表現力・文書力等の評価が難しくなる面を持ち合わせている。 認定実技審査などを実施し、外部評価者による技術レベルの評価を行っている。	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明確な規定により、成績評価・修了証認定基準は適切に運用されている。</li> <li>・実践に近いテスト形式で慣れる効果がある。</li> <li>・マークシートが思考力、表現力、文章力等の評価を難しくさせる話をよく聞く。それらの学力アップもバランス良く指導をお願いしたい。</li> <li>・一層の努力を期待します。</li> <li>・適切</li> </ul>
	3-10-2 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか					
3-11-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	4	学生便覧等に卒業後に得られる受験資格について明記されている。また、養成課程目標とする資格取得のために養成施設指定規則に定められた時間数以上の授業時間を確保している。 最終学年では国家試験合格に向けた年間タイムスケジュール作成や個々の学生の弱点科目(項目等)の把握に努め、到達状況の確認、指導を実施している。	1・2年次より国家試験を意識した授業を実施している。また、2年次では放課後学習会やST(スチューデント・ティーチャー)制度を導入し、個別指導の徹底を図っている。 最終学年で実施される模擬試験等の結果より資格・免許取得への状況を個別面談を実施、指導している。	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な手段を講じて、指導体制を徹底している。</li> <li>・充実した方法により国資の道を切り開いている。</li> <li>・資格取得が最大のモチベーションなので、100%確実な取得に向けて計画的な支援をお願いしたい。</li> <li>・個別指導により安心感があると思います。</li> <li>・適切</li> </ul>	
3-11-2 資格・免許取得の指導体制はあるか						

項目	点検項目	自己評価	自己点検	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	評価	学校関係者評価委員よりの御意見
		適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1			適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1	
3 教育活動	3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか	4	「介護福祉士養成施設指定規則」、「あん摩マッサージ指圧師、はり師及びきゆう師に係る学校養成施設指定規則」の規定に基づき教員人数は充足している。新入職の兼任教員には、グループ校で講師研修、専任教員はFDマイクロレベル研修や公開授業を実施して、スキルアップを図っている。	教育力向上に向けて、学園グループのFD研修(ミドルレベル・マイクロレベル)を受講し、より質の高い教育を目指していきたい。専門性が高く、幅広い医学的知識を必要とするため関連セミナーや学会への参加を促している。 教育理念を達成するために学科事務局組織を編成し、会議を実施し体制を整備している。また年度初めには各部署にて事業計画を作成し共有することで組織運営を実施している。	4	・教員の資質・スキル向上に常に前向きに取り組んでいる。 ・滋慶学園グループとしての研修体制の確立があって、よりレベルの高い教員集団へと進化されているのだと思います。 ・適切 ・教員の方々の取り組み期待します。 ・継続的な研修がある。 ・教育のスキルアップがイコール学校の質・内容・人気の向上につながると思う。是非、研修費も計上し、充実した職員教育体制を築いて頂きたい。
	3-12-2 教員の資質への取り組みを行っているか					
4 学修成果	4-13-1 就職率の向上が図られているか	4	卒業生の就職内定率について、令和3年度介護福祉士科は100%(100%)、鍼灸科は94.7(86.7%)という結果を残している。( )内は令和3年度	常に学生が求める就業先からの求人を得るために求人依頼を発送し、学生との面談を実施して希望就業の把握に努めている。令和3年度は、模擬面接の機会を増やした。また、コロナ禍での就職活動となったため、事業所と学校を繋いだweb面接に参加する学生が数名いた。 就職活動へ早期に導き、モチベーションアップにも繋げるため業者による就職に関する特別講義を実施した。	4	・高い就職率が維持できている。 ・適切 ・内定率安定に向けての活動に期待しております。 ・問題なし ・御校の生徒(学生)は、業界からの引く手あまたで、とても切望されている。より学生の願いに沿ったマッチングが出来るように進めていただければと思う。
	4-14-1 資格・免許の取得率の向上が図られているか	4	令和3年度国家試験の合格率は以下の通りである。 介護福祉士 96.2%(71%) はり師 新卒95.7%(90.3%)、既卒25.0%(21.2%) きゆう師 新卒91.3%(91.4%)、既卒25.0%(20.2%)	入学した全ての学生に目指す資格を取得させるという学園・学科のミッションを達成すべく、個々の学生に合わせた指導体制を強化する必要があると考える。 目標達成には初年度教育の充実、また保護者の協力が必要となっている。 コロナ禍により従来の放課後補習ができなかったため、Google classroomを用いてWEB学習によるフォローを実施した。また、密を避けながら個別指導を行った。	3.7	・試験合格率は高水準を維持できている。 ・「資格・免許の取得率の向上が図られているか」を見るには、経年比較が必要かと思えます。過去3年分の明示を。 ・はり師きゆう師ががんばって100%目指してください。 ・100%に近づくことを期待します。 ・学習の場を作ることによる合格率のアップとなったと感じた。 ・素晴らしい合格率だと思う。更に高みを目指してフォローをお願いしたい。
	4-15-1 卒業生の社会的評価を把握しているか	4	卒業生の活躍は就業先からの評価や役職への登用、独立開業者の増加、実習指導の出来る卒業生の増加などから評価できると考える。 前年度、前々年度卒業生の動向の確認などを定期的に実施していることから把握していると考え。	就業先への訪問や業界会合への参加等を通して、業界のニーズを把握し卒業後研修を充実させる必要がある。就業先において役職への登用や企業した卒業生へ講師依頼を行い、WEBによる講義・演習等を実施している。	4	・卒業生の動向調査を定期的に行うなど、社会的評価の把握に努めている。 ・適切 ・すばらしいと思えます。 ・卒業生の活用をこれからも。 ・卒業後の離職状況とその理由も把握することで早期離職者の減少に取り組まれていると思えます。 ・優秀な卒業生をたくさん出されているので活躍の様子は在校生の励みにつながると思う。
5 学生支援	5-16-1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	4	就職支援機能を学科内に置き、専任教員が学生への就職支援相談を実施している。	就職支援に関しては関係する法規やマナー、面接技法などを授業で指導している。また就職に関する調査アンケートを個別に実施し、就職相談や求職依頼に活用している。	4	・適切 ・オープンで相談しやすい場を作って下さい。 ・問題なし。 ・昨今の様子から学生の将来の夢も多岐に渡ってくると思われるので、それに応じた支援が出来るように体制の進化をお願いしたい。
	5-17-1 退学率の低減が図られているか	3	退学の理由としては学力不振が最も多いが、近年では学力不振の背景に心理的な課題や目的意識の喪失などが伺える。退学率の低減のために学生個人の特性を理解するためにサポートアンケートを実施し、学生個別面談への活用や日々の学生動態と照らし合わせて学生の変化を察知できるよう努めている。またスクールカウンセラーを活用し退学防止に向けた取り組みを行っている。	入学時や在学中も目的目標設定を明確にできるよう授業内や個別面談によりモチベーションの維持に努めている。 進路変更委員も含んだ教職員個々のカウンセリング力のさらなる向上が求められる。また、保護者との連携の強化も必要となる。 専門職を目指す上での学習と高等学校までの学習習慣とのギャップなどによる環境適応ができず、ストレス抱える学生も少なくなく、学生のストレスマネジメントなどの課題も出た。	3.3	・保護者との連携・意思疎通を積極的に行い、個々の生徒の問題を把握するとともに、その解決に丁寧かつ積極的に取り組んでいる。 ・適切 ・時代に応じた学生の考え方も多様化しており、就業することの価値も変わってきているのも事実かと思えます。支援方法も進化が必要と思われます。 ・日頃の様子など何か少しでも変化があれば保護者への連絡を望みます。 ・将来像を早期にイメージすることにより退学を減少させる努力をしている。 ・せっかく思いをもって入学してきた学生なので、是非資格取得し、卒業できるように願う。昨今、学生の背景には様々な事情があると思われるので、ストレスマネジメントは大切な分野だと思う。 ・学生自身の意識を学校がコントロールするのは、難しいと思えます。無理なサポートをするより、学力不振者のサポートと優秀者のサポートをする方が学校側としてメリットがある気が…。
	5-18-1 学生相談に関する体制を整備しているか	4	学習面、メンタル面・健康面、経済的な問題などの相談を各所で受け入れる体制を整備し、有効に機能させている。必要な学生には、学内のスクールカウンセラーを利用。カウンセラーと教職員がチームとしてアプローチし、問題の解決にあたっている。	学生の多様な問題に対応するため、サポートアンケートの活用、教職員のスキルアップ研修、カウンセラーとクラス担任との連携の強化などを行う。 最近スクールカウンセラー(相談室)の利用希望者も増えており、利用によりモチベーションの向上が得られたケースも認められている。留学生に関してはN2資格取得と国家試験対策においては別途プログラムを準備し、卒業後も活用して頂けるよう対面型とオンラインを併用した運用を実施している。	4	・問題解決のために様々な手段を用いて支援をしている。 ・適切 ・今後も体制を整備し、生徒に寄り添う学校を期待しています。 ・サポートアンケートにより問題への対応を対策している。 ・学生がスクールカウンセリングの戸を叩くのはとてもハードルが高いと思うので、相談しやすい環境や体制を整えていただけたらと思う。
5-18-2 留学生に対する相談体制を整備しているか						

項目	点検項目	自己評価	自己点検	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	評価	学校関係者評価委員よりの御意見
		適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1			適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1	
5 学生支援	5-19-1 学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	4	学生の経済的側面の支援は、ファイナンシャルアドバイザー研修を受けた職員によって①入学前②入学後において個別相談を実施している。学費相談を受けた学生個人に応じて、学費支払いと奨学金制度での資金のやり繰りにおいてシミュレーションを実施している。学生支援機構においては借り返し防止にも努めている。健康面については、学校健康法に基づき4月の健康診断の実施、必要に応じて再検査の案内を行っている。	学費支援システム・特待生選抜制度・在校生援助奨学金・学びなおし支援金など複数の学校独自の支援制度を活用し、個々の学生の状況に応じたサポートを行う。特に奨学金の借り返し防止の対策と卒業学年においては就職状況も把握することを努めていきたい。健康面においては、再検査の受診率100%を目指す。	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ファイナンシャルアドバイザー研修を受けた職員が、しっかり経済的側面のサポートをされていることが素晴らしい。</li> <li>・経済的支援制度が用意されており、個々の学生に応じた支援体制が構築されている。</li> <li>・学生ならびに支援する保護者の経済状況は様々で、中には厳しい中(環境)で、学生生活を送っていることも考えられる。お金に関する悩みは相談しにくく、内にこもりがちなので安心して相談できる場を設定して頂きたい。</li> <li>・学び直しに対する支援金があるのは良いと思った。</li> <li>・今後も支援体制に努力をして下さい。</li> <li>・コロナ禍における収入減については、特にひとり親家庭の学生への支援は不可欠だと思います。また相談しにくい方への配慮もよろしく願います。</li> <li>・適切</li> </ul>
	5-19-2 学生の健康管理を行う体制を整備しているか					
	5-19-3 学生寮の設置など生活環境支援体制を整備しているか					
	5-19-4 課外活動に対する支援体制を整備しているか					
	5-20-1 保護者との連携体制を構築しているか	4	本校のミッションである職業人教育や就職、学生の資格取得実現のためには学校だけでなく家庭を中心とした学校外での学生動向も把握するように努め、問題解決にあたり、保護者との連携の強化を図っている。	入学直前にオンラインによる保護者説明会を実施。学校の考え方、支援方針と体制をご理解頂き、保護者に学校との協力をお願いしている。	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の理解や協力は何よりも学生の力になると思う。</li> <li>・保護者の連絡を密にすること。</li> <li>・何か学校での様子に変化がある時は連絡していただけるのでしょうか。</li> <li>・適切</li> </ul>
5-21-1 卒業生への支援体制を整備しているか	3	卒業生との(業界)連携はますます重要になってくると考えられ、学科ごとの卒業研修を充実させる必要がある。現在、求職や開業相談、法改正に基づく変更点など様々な情報を発信している。産学連携による再教育に関してはSNSなどを活用し、業界団体また関連職種が開催する講習会等の案内を伝達し参加を促している。	SNSなどを活用し卒業生の近況の情報収集を行い、必要に応じて卒業生への支援を実施している。卒業教育に関しては卒業生の勤務状況や学校行事等の兼ね合いより実施できていない現状である。	3.3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在校生にとどまらず、卒業生に対する支援制度も充実している。</li> <li>・卒業生のネットワークは、個人にとっても学校にとっても財産である。より良いつながりが続いていくように願う。</li> <li>・いつもお世話になっています。</li> <li>・問題なし。</li> <li>・卒業後も相談できる場であってほしい。</li> <li>・適切</li> <li>・卒業生への教育も大切で、ぜひ実現して欲しい。</li> </ul>	
5-21-2 産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか						
5-21-3 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか						
6 教育環境	6-22-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	4	厚生労働省による「介護福祉士養成施設指定規則」、「あん摩マッサージ指圧師、はり師及びきゅう師に係る学校養成施設指定規則」に従い、設備・教育用具等を整備している。	教育効果とその必要性を検討し実習施設の拡充、教育用具等の充実をさらに図る必要がある。	3.9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育上必要と思われる施設・設備は必要十分に整備されている。</li> <li>・教育設備は、費用が大変高く計画的な購入計画が必要だと思う。</li> <li>・問題なし。 ・適切</li> <li>・介護科に個人ロッカーの設置を希望します。通学に荷物が多すぎるとの不満があります。</li> </ul>
	6-23-1 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	4	新型コロナウイルス感染防止による影響により海外研修は実施できていない。学外実習においても影響は受けているものの限られた範囲内での充実した実習プログラムや代替え学内実習にて対応を行っている。	学外実習は、新型コロナウイルス蔓延防止のため、一部学内実習に切り替えた。海外研修は外務省より渡航中止が発令されたためともに中止とした。	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナが終息し、また海外研修などが再開して学生の良い経験に繋がるように願う。</li> <li>・問題なし。 ・適切</li> <li>・実習など増えることを望みます。</li> </ul>
	6-24-1 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	4	想定される災害に対する防災体制は整備されており、緊急連絡メールシステムが設置されている。消防訓練は、消防署員立会いの下で年1回行っており、評価を翌年に生かし改善している。緊急地震速報対応訓練も行っており、AEDは設置済みで月1回の点検を行っている。また、損害保険などにも加入している。	緊急時により近い消防訓練を行うため、各担当者の役割を越えた訓練を通して安全管理体制を強化する。また2022年度は教職員のうち役職者全員が防火管理者の資格取得を目指し研修を受講予定である。教職員は、AED利用講習会は受講しているが、緊急時に活用できるかどうか定期的な研修を実施している。	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災に対する意識づけが日常的に出来ている。</li> <li>・役職員全員が防火管理者の資格取得をされる事はとても良い取り組みだと思う。</li> <li>・問題なし。</li> <li>・生徒の安心安全に努力してください。</li> <li>・適切</li> </ul>
	6-24-2 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか					

項目	点検項目	自己評価	自己点検	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	評価	学校関係者評価委員よりの御意見
		適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1			適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1	
7 学生の募集と受け入れ	7-25-1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか	4	兵庫県専修学校各種学校連合会の規定に基づき、募集開始時期、募集内容(入試日程・入試制度・特待生試験・学費明記など)を決めている。入学案内は、三田校と共通のもので、学校・学科・設備・在校生、卒業生紹介・就職支援や実績・オープンキャンパス等が理解できる様に編集し、それを基にホームページも整備している。個人情報取扱委員会を設置し情報を管理している。	モチベーションの維持・強化をするために、入学前にはオープンキャンパス→入学前教育を実施し、入学後の授業や学生生活、職業観を意識した形での教育を実施し、スムーズに専門教育に取り組める様にしていく。また同時に職業に関する啓蒙活動にも取り組んでおり、業界と連携し、中学生のトライやるウィークでの介護職経験の実践の機会を提供している。今後一層拡大していきたい。またコロナ禍の影響を鑑みWEBでのイベントを積極的に行ない、来校型だけでなくWEBでの参加や個別相談を活用し、入学に結びつくケースも多く存在しているため、このような機会を増やしていきたい。	4	・情報提供・募集活動はホームページを有効に活用し、行われている。 ・適切 ・入学以前より学校とのコミュニケーションは大切であり、多くの機会が増える事を期待します。 ・入学前教育が良いと思う。続けて欲しい。 ・学生募集を効果的に行うことは、少子化の時代の学生確保に欠かせない。前例にとられず新しいことにもチャレンジしながら取り組んでいっていただきたい。
	7-25-2 学生募集を適切かつ効果的に行っているか					
	7-26-1 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	4	学則を基にし、募集要項で明記した入学選考方法通りに選考をしている。各回の選考に関しては、スケジュールを募集要項に明示し、決められた日程に実施している。また、選考終了後は判定会議により可否を確定する。面接、提出書類、選考試験の結果を踏まえ、将来医療・福祉の業界で働くことに適性があるかを総合的に判断している。	将来の希望分野への適性をきちんと見極めるため、面談の比重を高くしている。結果として学力のみにとらわれない、モチベーションの高い学生確保に役立っている。また、AO入試を導入し、学力に捉われず、キャリア教育の一環として、やる気を重視した入学選考を継続する。	4	・適性とやる気を重視した選考が入学後のミスマッチを防ぐことにつながると思います。 ・学則・募集要項に定める入学選考基準により、可否確定等の判断が適切に行われている。 ・適切 ・人物重視することを続けて欲しい。大切だと思います。 ・学力のみにとらわれないモチベーションの高い学生の確保は学校の質の向上のためにもよい事だと思う。
	7-26-2 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか					
	7-27-1 経費内容に対応し、学納金を算定しているか	4	学納金は、各学科の教育目標達成を目指した学校運営に必要な金額であり、人件費、実習費、施設運営費等に当てられている。毎年、各学科において教材及び担当講師の見直しを行っており、諸費用の無駄な支出をチェックしている。各学科から提出された案を元に運営会議にて検討され、決定をしている。また、入学辞退の取り扱いについては、募集要項に明記して対応している。	入学以前の募集要項や説明会において、事前に年間必要額を明示しているため、保護者に関しては年間支出計画が立てやすい。また、高等学校在学者に対しても、日本学生支援機構の予約採用のアナウンスや教育ローンの案内をするなど、学費負担者の立場にたったのアドバイスを実施している。	4	・適切 ・オープンで相談しやすい場を作って下さい。 ・問題なし。 ・昨今の様子から学生の将来の夢も多岐に渡って来ると思われるので、それに応じた支援が出来るように体制の進化をお願いしたい。 ・数回に分けての支払いはとても助かり必要額の提示もわかりやすかったです。 ・学費負担者の立場に立って計画的に安心して支出できることが学生の情緒安定にもつながると思う。
7-27-2 入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取り扱いを行っているか						
8 財務	8-28-1 学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	4	5ヶ年を見越した収支計画は中長期的な視点で考えているため、財務基盤の安定に資するための大規模な計画もじっくりと立てることができ、この方針は今後も続けていく。	安定した運営を継続的に行うため、各学科における1学年の募集定員、介護福祉士科40名、鍼灸科30名、精神保健福祉士科40名の定員充足率100%を目指し、退学率4%以内を目指す。	4	・先5年を見越した収支計画・予算編成が策定されており、監査・情報公開体制もしっかり構築されている。 ・適切 ・今後の努力に期待します。 ・退学率は低くなる様に。 ・是非今後も欠員無きように願っています。
	8-28-2 学校及び法人運営に係る主要な財務数値に関する財務分析を行っているか					
	8-29-1 教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	4	5ヶ年を見越した収支計画を作成しているが、学校、学園本部、理事会・評議員会と複数の機会をチェックするためにより現実的に即した予算編成になっているものと考え。学校の財務体制を管理し、健全な学校運営ができるように予算・収支計画は有効かつ妥当な手段として利用されている。	予算→四半期予算実績対比→決算という流れの中で、収支計画が実現可能なものとなり、財務基盤の強化につながっている点が特徴として挙げられる。	4	・適切 ・今後の努力に期待します。 ・問題なし ・安定した財務状況が全て基盤となる為、経営分析を随時行い、強化にも努めていただきたい。
	8-29-2 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか					
	8-30-1 私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか	4	私立学校法に基づく業務並びに財産の状況について監査を実施している。現在のところ、監査報告書は適正な計算書類を作成している旨の意見が述べられており、適正な計算書類を作成していると考え。監査を有効に実施するため、証憑書類の整理、計算書類の整備、各種財務書類の整理整頓に努めている。	内部・外部両監査時における改善意見について記録し、適切かつ迅速に対応する。	4	・適切 ・適切な監査を希望します。 ・問題なし ・特に内部監査は難しいが、形作れるととても有効に機能すると思われる。
8-31-1 私立学校法に基づく財務公開体制を整備し、適切に運用しているか	4	財産目録、貸借対照表、収支計算書、監査報告書など財務情報公開の体制整備は出来ている。	当法人の財務情報公開に関しては、常務理事が統括し、事務局長が責任者として担当する。また、事務担当者を置いて現場対応を行っている。＜公開書類＞1. 財産目録2. 貸借対照表3. 収支決算書4. 事業報告書5. 監査報告書	4	・問題なし ・法定遵守にて対応いただければと思う。	

項目	点検項目	自己評価	自己点検	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	評価	学校関係者評価委員よりの御意見
		適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1			適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1	
9 法令等の遵守	9-32-1 法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	4	法令や設置基準の遵守に対応する体制作りは、整備されている。カリキュラムや教員要件はしっかりチェックし、教職員の啓蒙として、法令や設置基準を遵守に対する研修を実施している。	監事による毎年の監査に際して、業務監査の対象としてコンプライアンスの実施状況についても監査してもらっている。	4	・法令の改正などにも常にアンテナを張り、早めの対応をお願いしたい。 ・問題なし ・適切 ・適正な学校運営に期待しています。
	9-33-1 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	4	学内で個人情報保護規定を定め、個人情報取扱委員会が中心となり運用している。教職員に対しては、個人情報保護責任者は認定CPOアカデミック講座を通して、学校等における個人情報管理責任者として必要となる知識を毎年習得。教職員は、認定CPAアカデミック講座を通して学校等における個人情報取り扱い従事者として個人情報を取り扱うために必要となる知識を習得した。それぞれ更新講習に取り組んでいる。学生と講師に対しては、オリエンテーションなどにおいてITリテラシーについてや個人情報保護について冊子を用いて伝えている。	外部機関の「TRUSTe」より国際規格の認証を獲得し、ホームページ上に明記している。教職員はもちろん、学生と講師に対しても、オリエンテーションなどにおいてITリテラシーについてや個人情報保護について冊子を用いて伝えている。	4	・個人情報管理責任者を配置し、適切な管理が行われている。 ・特に最近のサーバーテロは目に余るものがあり。大手企業も被害にあっている。是非そのあたりにも注意し、個人情報の流出を防いでほしい。 ・意識をもって管理されている。 ・適正な学校運営に期待しています。 ・適切
	9-34-1 自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	4	年1回自己点検・自己評価を行い、学校関係者評価委員会で意見収集し、その結果をホームページに掲載している。	学校関係者評価結果に基づき短期的・中長期的課題の整理を行い、改善に取り組む。	4	・自己点検・自己評価の実施体制は適切に整備されており、正しい学校運営が実践出来ている。 ・本自己評価はとてよく分析されており、課題の整理、さらなる向上に役立っていると思われる。 ・問題なし ・適正な学校運営に期待しています。 ・適切
	9-34-2 自己評価結果を公表しているか					
	9-34-3 学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか					
9-34-4 学校関係者評価結果を公表しているか						
9-35-1 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	4	教育情報については、自己評価・自己点検の結果等と合わせてホームページに掲載している。	ホームページに掲載している教育情報については、必要に応じて更新をする。	4	・ホームページを生きたものにしていって下さい。 ・問題なし ・適切 ・適正な学校運営に期待しています。	
10 社会貢献・地域貢献	10-36-1 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	コロナ禍で制限はあるものの教育資源を活用した社会貢献については、近隣の福祉施設、高等学校、関連団体とある程度の連携・交流は出来ている。	コロナ禍による活動制限があるなかではあるが、活動の可能な範囲で実施。	4	・コロナ禍でもうまく工夫して様々な活動をされたと思う。 ・交流を実践して関係性を深めて下さい。 ・これからも交流の場を作って下さい。 ・一刻も早くコロナ制限の解除を願います。 ・適切
	10-36-2 国際交流に取り組んでいるか					
	10-37-1 学生ボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	3	コロナ禍、活動制限により積極的には学生の参加は見合わせた。コロナ禍以前は積極的に対人援助職に求められるコミュニケーションスキルの向上に役立つため、学生への参加を促している。	地域防災ボランティアや地域健康増進推進事業、実習前施設レクリエーションへの参加や地域清掃を実施している。	3.7	・地域社会に愛される学校運営を目指して前向きに活動している。 ・コロナ禍ではあるものの、可能な範囲で実施されているものと思います。 ・また状況に応じてボランティア活動を行って下さい。 ・コロナ禍でもうまく工夫して様々な活動をされたと思う。 ・コロナ禍でも出来るボランティアという視点で新たなボランティアの形を見出す必要もあるかも知れません。 ・ボランティア活動はずばらしい事ですが、参加する場所が遠すぎるのでは？すべて学校の近隣にしてみたいかがでしょうか。 ・適切